

平成29年度事業報告

(平成29年4月1日から平成30年3月31日)

公益社団法人府中町シルバー人材センター

我が国の高齢化は、世界に類をみないスピードで進展しており、地域の経済社会の活力を維持するためには、経験豊かな高齢者が地域社会の重要な担い手としてその役割が大きく期待されています。

シルバー人材センターの事業の内容が毎年変化する中、当センターでは、創意工夫し魅力あるシルバー事業に取り組んできました。このことから、多年にわたり、地域の高齢者の就業に貢献したことが認められ、全国シルバー人材センター事業協会から法制化30周年記念「優良都道府県連合会及びセンター」に選ばれ、表彰されました。

平成29年度の事業は、平成26年度に作成した「第三次中期計画」の3年目となることから、国の補助金の動向を見極めながら、高齢者が地域の担い手として活動を推進するため、「府中町子育て応援団」、団塊の世代を活用する「府中町歴史発見カフェ」の運営、「高齢者の引きこもり対策及び介護予防セラピーサロン事業」について、国及び府中町からの補助金を確保し、地域就業機会創出・拡大事業を実施しました。また、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業（派遣事業）については、コーディネーターを配置し、受注活動を積極的に推進しました。

府中北交流センターの指定管理者として、施設の管理、清掃等会員の就業機会の確保と地域の福祉の向上に努めました。さらに、鶴江作業所を町北部の支所機能を兼ね備えた事務所として拡充し、福祉・家事援助サービスの拠点となるよう整備しました。

会員数は、普及啓発に伴う入会促進のチラシ等を全戸配布し、会員の増強に努めた結果、6人の増員となりました。

事業実績につきましては、受注件数が1,901件で前年度と比べ72件減少しましたが、請負・委任、派遣事業等を含めた契約金額は、公共からの委託業務を含め、前年度の水準を下回らないように努めた結果、189,693千円で、前年度と比べて5,982千円の増額となりました。

シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」に基づき、つぎのように取り組みましたので、ご報告申し上げます。

(1) 事業運営の健全化と組織体制の強化

公益社団法人として、公益性を重視した事業運営に徹し、公平・公正透明性のある事業運営を推進しました。

また、国や府中町からの補助金を有効に活用し、役・職員を始め口コミによる会員の受注活動を積極的に推進し、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業（派遣事業）を推進し、介護育児支援業務や地域における人手不足分野等への取組みを拡大しました。

(2) 会員の増強

第三次中期計画の会員数（平成29年度は393名）を目標とし、一般家庭を対象として福祉・家事援助を始めとする地域貢献ができる事業展開を図り、女性向けの就業機会の確保と女性会員の入会促進に努めました。

また、各種イベントに積極的に参加し、センターの普及啓発とともに、正会員・特別会員の増強に努めた結果、前年度より6人の増員となりました。

(3) 普及啓発活動の強化と実践

広報誌「安芸府中シルバーだより第36号」を町内全戸配布により、住民にシルバー人材センター事業の普及啓発及びPR活動を行い、その中で、「センター設立30周年のあゆみ」の特集を組みました。また、新聞折込広告等により普及啓発活動の推進を図りました。

(4) 就業機会の拡大と就業場所の確保

府中北交流センターの指定管理者として、施設の管理、清掃等会員の就業機会の確保と地域の福祉の向上に努めました。また、就業機会の創出のため個人、民間事業所、公共機関へ巡回や訪問を行い、発注先からの受注件数を増やすように努め、会員に適した就業の開拓を行いました。

(5) シルバー派遣事業の取組み

高齢化や労働力人口の減少が進行する中、多くの業種における人手不足分野や介護及び育児等の現役世代を支える分野において、シルバー派遣事業は確実に拡大しており、育児・介護等の就業分野に、女性の会員の就業機会創出の拡大を図りました。

(6) 地域就業機会創出・拡大事業の取組み

国等からの補助金を有効活用して、府中町と連携を図りながら、子育て支援事業、観光事業、介護予防分野などに取り組み、高齢者の地域貢献を就業機会

の創出を実現しました。また、改正介護保険制度への参入を目的とした取り組みについて、介護予防事業として、高齢者筋力向上トレーニング、認知症予防オレンジサロン（メンズサロンを含む）、高齢者の見守り事業、健康マージャン教室、高齢者軽度生活援助などについて拡充を行い、実施しました。

（７）安全適正就業の推進

就業における「安全第一」を基本に、安全巡回指導、パトロール、安全講習会を実施したところですが、賠償事故は２件（前年度２件）、傷害事故は４件（前年度４件）、車両事故は１件（前年度１件）と前年度と同件数でした。引き続き「安全就業対策推進実行計画」に基づき、事故防止の徹底を図ってまいります。

（８）社会参加活動の推進

シルバー事業に対し、広く地域社会の理解と協力を得るため、１０月第３週土曜日「シルバーの日」の１０月２１日に会員及び役職員３４名が参加し、センター周辺の清掃作業の社会奉仕活動を行い、シルバー事業の社会的意義を強くアピールしました。

また、不審者から子どもを守るために、会員が登下校中の子どもの見守り活動に協力しました。